



# READ Me



ネットワークから最新のソフトウェアをダウンロードできることは、インターネットの大きな魅力の1つです。このコーナー「READ Me」では、ネットワークから入手できる最新のソフトウェアに焦点をあてて、必ず役に立つ情報満載でお届けします。まずは今月の注目ソフトから。

インターネットが  
ますます楽しくなる  
ソフトウェア  
3選

## HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト



Win

[アルメール32]

# AL-Mail32 Ver.1.00

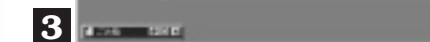
97年夏にベータ版が公開されてから、長らくベータ版のまま開発が続けられたウィンドウズ用メールソフト「AL-Mail32」が、ついに待望のバージョン1.00として正式リリースされた。新しくなった「AL-Mail32」の特徴を見てみよう。

### 初心者にもやさしい 簡単インストール

付属のインストーラーからインストールをすると、16ビット版「AL-Mail」を利用していたユーザーは、POPサーバーやメールアドレスなどの基本設定が自動的に設定されるので、簡単に32ビット版に移行できる(図1)。また、付属のツールを使えば今まで利用していたメールボックスは32ビット版に取り込めるので移行は簡単だ(図2)。ただし、メールの振り分け設定やアドレス帳などは取り込まれないので、再設定が必要となる。新規ユーザーはインストール中にPOPサーバーアドレスなどの必要項目を入力するだけですぐに利用することができる。

### さらに便利に使いやすくなった

32ビット版では受信メールと送信メールの表



3 16ビット版のメイン画面。



配布元：有限会社クレアル  
CD-ROM収録先：[X] Win Almail32  
入手先：<http://www.almail.com/>



1



2

●付属のユーティリティーで16ビット版から簡単にメールが移行できる



4

●エクスプローラライクになった32ビット版のメイン画面。

#### 動作環境

OS：ウィンドウズ95、NT  
種別：シェアウェア2,000円  
(学生、教育機関での利用は無料)

示可能サイズが1Mバイトに拡張された点(16ビット版は50Kバイトまで)、1フォルダーあたりの最大メール数が約3万通(16ビット版では1000通程度)、アドレス帳サイズ無制限など16ビット版での制限が大幅に緩和された。メールを大量に扱うヘビーユーザーでも安心だ。ただし、32ビット版も16ビット版と同様にメールは1メール1ファイルの形式で保存されるため、大量にメールを保存するとハードディスクを非常に消費する。

### すっきりしたインターフェイス

16ビット版AL-MailはMDI(Multi Document Interface)と呼ばれるメインウインドウの中に各フォルダーが子ウインドウとして表示されるインターフェイスだったが(図3)、32ビット版AL-Mailではウインドウが2分割され、左にフォルダーのツリー表

示、右側にファイルのアイコンが表示されるエクスプローラライクのインターフェイスに変更された(図4)。

### ライセンス体系の変更

今回のバージョン発表に伴ってライセンス体系が変更となり、学生や教育機関での利用は無料となった。ただし、サポートは受けられないので、サポートが必要な人はユーザー登録をする必要がある。なお、16ビット版のAL-Mail登録ユーザーは無償で32ビット版を利用できる。

## HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

2

[ウールチャット]

# WoolChat Ver.0.0.2

昨年のオンラインソフトウェア大賞で金賞を受賞した「WWWC」の作者からまた1つ新しいソフト「WoolChat」が発表された。WoolChatは、IRC (Internet Relay Chat)プロトコルを利用したIRCクライアントソフトだ。多機能ながら使いやすい「WoolChat」でIRCを体験してみよう。

### まずはサーバーに接続しよう!

IRCはインターネットを利用したチャットシステムだ。パソコン通信のチャットのように複数の相手とリアルタイムに文字を使って会話を楽しめる。まずは「IRCサーバー」に接続してみよう。起動すると、図1の画面が表示される。ここで、ツールメニューの「サーバ」から「新しい接続」を選択しよう。すると図2のウィンドウが表示される。ここにチャットに接続するための必要事項を入力しよう。「接続先」にはIRCサーバーのアドレスを入力する。「パスワード」は入力しなくてOKだ。ニックネームとログイン名には気に入った名前

を入力しよう。ただし、日本語は使えないので英数字で入力しなければならない。最後に本名をローマ字で記入して「OK」ボタンを押すとIRCサーバーに接続される。

### チャンネルに参加してみよう!

IRCサーバーに接続しただけではチャットはできない。会話をするには「チャンネル」に参加しよう。図3のメインウィンドウにある「チャンネル」メニューから「チャンネル一覧」を選択すると、現在開かれているチャンネル



#### 動作環境

OS : ウィンドウズ95、NT  
種別 : フリーソフトウェア



配布元 : 中島智秋氏  
CD-ROM収録先: Win Woolchat  
入手先: <http://www.kinet.or.jp/naka/tomo/>

が表示される(図3)。この一覧の中から、好みのチャンネルを探してダブルクリックするとチャットに参加できる。5000以上のチャンネルがあるので好みのチャンネルがきっと見つかるはずだ。また、自分でチャンネルを作成することもできる。

## HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

3

[さくらとけい]

# 桜時計 Ver.0.2.1



Win

パソコンに内蔵されている時計は非常に精度の低いものが多い。放っておくといつの間に何分も時刻がずれてしまうことがある。インターネットでメールを送るときはパソコンの内蔵時計の送信時間を記録するため、時計が狂ったままではメールを送った相手にも迷惑がかかることがあるのだ。桜時計はそんなパソコンの内蔵時計の狂いを正確な時刻に修正するソフトウェアだ。

#### 動作環境

OS : ウィンドウズ95、NT  
種別 : フリーソフトウェア

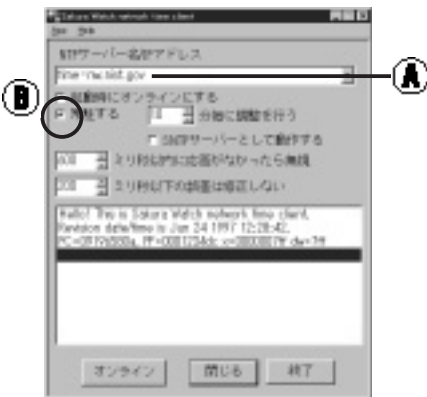


配布元 : 宇野信太郎氏  
CD-ROM収録先: Win Sakura  
入手先: <http://www.venus.dtinnet.or.jp/~uno/>

ると左のような画面が表示される。まずは動作の設定をしよう。1にNTPサーバーのアドレスを入力する。あらかじめいくつかのサーバーが登録されているので、NTPサーバーのアドレスが分からなければデフォルトの設定のままにしておこう。2でタスクトレイに常駐するかどうかを設定する。ここにチェックしておけば定期的にNTPサーバーにアクセスして時刻を自動的に修正するので、常に正確な時刻を表示してくれる。次回の起動からはその設定に従って動作するので、スタートアップフォルダーに桜時計を登録しておけば常に正確な時を刻み続ける。

### 常に正確な時を刻む

インターネット上には、常に正確な時を刻み続けるNTP(Network Time Protocol)サーバーがある。桜時計はそのNTPサーバーにアクセスしてパソコンの内蔵時計のずれを修正するソフトウェアだ。桜時計を初めて起動す





ブラウザの最新動向をお伝える

# WWW Browser Hot Line



バージョンアップ情報  
やバグ情報、新しいブ  
ラウザの情報など、  
次から次へと飛び込ん

でくるWWWブラウザ関連の最新ニュースをまとめて紹介するのがWWW Browser Hot Lineのコーナーです。今月は、ネットスケープコミュニケーションズ社の新サービス「インボックス・ダイレクト」の日本語版購読受け付けのニュースからお届けします。

## WWW Browser Hot Line

### インボックス・ダイレクト日本語版 サービスの購読受け付け開始



日本ネットスケープ・コミュニケーションズ株式会社は、HTMLメール配信サービス「インボックス・ダイレクト」の日本語版情報配信サービスの購読受け付けを同社ウェブサイト上で開始した。ただし、サービス登録画面は英語のため、登録は英語で行わなければならない。購読料は現在のところ無料となっている。インボックス・ダイレクトはHTML形式のメールとして配信されるので、サービスを受けるには同社のネットスケープコミュニケーターなどHTMLメールに対応したメールソフトが必要だ。現在のところ日本語版の購読

申し込みができるコンテンツは、毎日新聞社の「毎日新聞デイリーニュース・インターネット」とパーゲンアメリカ社のショッピングマガジン「パーゲン・アメリカ」の2つだ。今後、株式会社インプレスによる「Free Watch」や株式会社リクルートによる「あちらNAVI NEWS」、扶桑社による「CAZネット」、株式会社トフルアカデミーによる「インターネットTOEIC模試」など各社がコンテンツを提供することを表明している。同サービスは全世界ですでに900万人を超えるユーザーが利用しており、関心の高さがうかがえる。



インボックス・ダイレクトの日本語による登録解説ページ  
[http://home.netscape.com/ja/comprod/ibd\\_procedure.html](http://home.netscape.com/ja/comprod/ibd_procedure.html)



インボックス・ダイレクト登録ページ  
[http://form.netscape.com/ibd/html/ibd\\_frameset.html](http://form.netscape.com/ibd/html/ibd_frameset.html)

## WWW Browser Hot Line

ネットスケープ  
コミュニケーター4.04  
日本語版登場!



ネットスケープコミュニケーター日本語版の最新バージョン4.04がリリースされた。すでに英語版は4.04がリリースされており、ようやく日本語版が登場した形だ。日本語版には、英語版に付属している「AOL Internet Messenger」というAOLに接続しているユーザーとチャットができるソフトウェアが省略されている。このバージョンでは、PNG (Portable Network Graphics) フォーマットのサポートとJavaやJavaScriptでの「LDAP Version3」への対応などが主な変更点だ。



ネットスケープコミュニケーター4.04日本語版の画面



## WWW Browser Hot Line

### W3CがHTML 4.0を勧告



W3C (World Wide Web Consortium) は先日、HTML 4.0を勧告した。HTML 3.2からの変更点は、フォームやテーブルタグの拡張、インラインフレームやスクリプト言語のサポートなどだ。今回の勧告によって、ネットスケープコミュニケーターとインターネットエクスプローラのHTMLの独自拡張路線に一応の決着が付いたことになる。しかし、両社ともに独自拡張の方向はダイナミックHTMLへと移っているため、今後もWWWブラウザの仕様の違いに利用者は困惑することが予想される。



## WWW Browser Hot Line

### 日本アイ・ビー・エムがPC情報を発信するアクティブチャンネルを開始



日本アイ・ビー・エムがパソコン関連の最新情報を提供する「IBM Japan MS Active Channel」を開始した。アクティブチャンネル用のページは「最新IBM PC情報」のコーナーで新製品ニュースやプレスリリースが読めるほか、イベントの案内やキャンペーンの情報といった個人向けの情報が得られる。そのほかのソフトウェア情報やサポートなどの情報は、すべてリスト形式にまとめられているので、最新の情報をチェックするのに便利だ。更新頻度は1日に数回だという。

[http://www.ibm.co.jp/ms\\_active\\_channel/subscribe.html](http://www.ibm.co.jp/ms_active_channel/subscribe.html)



アクティブチャンネル用に特別に用意された最新情報が表示される

## WWW Browser Hot Line

### マイケル・ジョーダンのアクティブチャンネルが登場



NBAのスーパーstar、マイケル・ジョーダンのアクティブチャンネルが登場した。スポーツ関連のニュースを発信しているCBS SportsLineが提供するもので、ジョーダン氏による月1回のコラムやシカゴ・ブルズの試合の様子が聞けるオーディオクリップ、ショックウェーブを使ったゲームのコーナーなどがある。オーディオクリップは、リアルオーディオファイルとWAVファイルが用意されている。さらに、日本では見られ

ないジョーダンが出演しているCMを見ることができる。

<http://cbs.sportsline.com/u/iejordan/subscribe.html>



マイケル・ジョーダンの最新情報が満載だ

## 情報募集!

このコーナーでは、ネットスケープコミュニケーターやインターネットエクスプローラといったWWWブラウザに関する情報を募集しています。新しいプラグイン、便利なTIPS、裏技などの情報を、編集部まで送ってください。

宛先は、[ip-cdrom@impress.co.jp](mailto:ip-cdrom@impress.co.jp)





# プログラマーにインタビュー Programmer's Cool Talk

PCT  
NO.  
17

インターネットで麻雀ができる  
あの「東風荘」の作者

東(mjman)

普段あまりメディアに登場することのないシェアウェアやフリーソフトウェアの作者の方々をお招きして、制作秘話などを聞かせていただくというのがこのProgrammer's Cool Talkのテーマです。第17回のゲストはインターネット上で好きな対戦相手を見つけ出して卓を囲むことができる麻雀ゲーム「東風荘」作者、mjmanこと東氏です。

Q プログラミングを始めたきっかけはなんですか？

東 14歳のころ、パソコンショップに置いてあったパソコンを触っていました。そのうちにプログラミングに興味を湧いてきて、いつのまにか店のパソコンで雑誌に載っているゲームのプログラムなどを打ち込むようになったんです。まあ、根っからのパソコン少年だったんですね(笑)。

そのころ、私と同じように店先でプログラムを打ち込んでいる同じ年代の人がいっぱいいたんですよ。打ち込んだプログラムの入ったカセットの交換なんかも店の中でしていました。

Q 「東風荘」はどのような経緯で生まれたのですか？

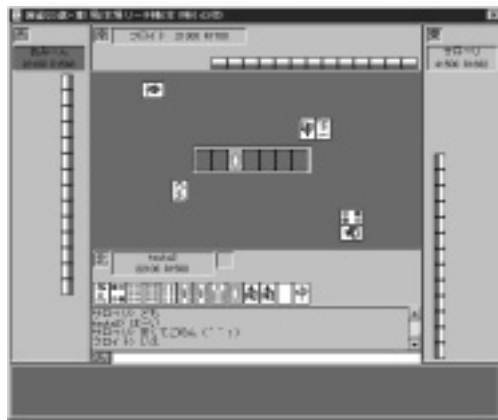
東 もともと、プログラミングを始めたころからゲームばかり作っていました。雑誌に載っていたゲームのプログラムをちょっと変更して遊んだりもしていました。

そして、1996年の夏に、PC-VANやニフティサーブにある「JoyntNet」というネットワーク麻雀にはまって、月3万円から4万円くらい使っていました。これではいかんという思いで、当時、私がフリーのプログラマーで暇もあったということで、自分でネットワーク麻雀を作ろうと思ったんです。

Q 「東風荘」のセールスポイントはなんだと思いますか？

東 どんな時間にアクセスしても、たくさんの会員の皆さんが麻雀をされていることだと思います。いつでも自分が麻雀をしたい時に、ほかの人と麻雀ができるということが一番のセールスポイントだと思います。やっぱり、パソコンを相手に麻雀をするのと、生身の人間を相手に麻雀をするのでは、盛り上がり方や楽しさが違いますからね。

Q 今後「東風荘」にはどのような機能と



「作りたいものを作る! 他人に言われたのではいいソフトは作れない」

生年月日：非公開  
好きなもの：美味い物  
嫌いなもの：不味い物

サービスが追加される予定ですか？

東 今のところ大幅な機能のアップは予定していません。会員の皆さんの要望を随時取り入れていきたいと思っています。

また、残念なことなのですが、現在、広告による営業が厳しい状況なんです。もし、このまま厳しい状況が続くことになると、有料化しなくてはなくなるかもしれません。



CD-ROM収録先

東風荘： Win Tonpusu

プログラム環境

PC：自作PC (Pentium 200MHz、メモリ

64Mバイト、ハードディスク6Gバイト)

OS：Windows 95

言語：Visual C++ Ver.5.0

エディター：秀丸エディタ

ホームページ

URL <http://mj.giganet.net/>

Q 「東風荘」を運営していて困ったことはありますか？

東 東風荘のサーバーがよくダウンした時期があって、そのときは辛かったですね。旅行もできないんですよ。まあ、滅多に外には出ないですけどね(笑)。

Q 今後作ってみたいソフトウェアはどんなものですか？

東 インターネットで多人数で対戦するリアルタイムのスポーツゲームを作りたいと思っています。ファミリースタジアム(任天堂のファミリーコンピュータ用の野球ゲーム)がインターネットで遊べて、18人でプレイできたら有料でも遊ぶなあなんて思っています(笑)。

Q ソフトウェアを作成するうえでこだわっていることはありますか？

東 バグが無く、とにかく動くものを作るということを心がけています。これが第一ですね。

Q ほかのプログラマーが作ったソフトウェアの中で、お気に入りのものはありますか？

東 秀まるおさんが作られた「秀丸エディタ」と「秀TERM」は素晴らしいソフトウェアですね。このソフトウェアが無ければ、DOSからウィンドウズへの移行はだいぶ遅れたらと思うます。

Q プログラマーを目指す人たちに何かアドバイスはありますか？

Q 作りたいものを作る! これにつけるのではないのでしょうか。他人に言われて作ってもいいものではないと思います。

Q 個人的にはインターネットをどのような用途に使っていますか？

東 仕事の資料集めなどでホームページを巡ったり、仕事の連絡に電子メールを使ったりしています。あとはSubSpaceやDIABLOといったネットワークゲームにもはまりました。もちろん東風荘で麻雀もしてますよ(笑)。

Q インターネットをどのようにお考えですか？

東 インターネットは、現状ではセキュリティやスピードの遅さといった問題がありますが、将来的にはインフラとして電話と併存するか置き換わって生活の一部になると思います。可能性を秘めた技術という感じがですね。



## Get Internet Tools!



### おすすめのソフトウェア情報サイトを一挙紹介!

このコーナーでは、インターネットから入手できるソフトウェアの情報を集めているサイトを紹介し、ブックマークに登録して、自分で使っているツールのバージョンが最新のものかどうかをチェックしましょう。今回は海外にあるサイトをまとめて紹介します。

**Win** Wit!  
<http://www.coara.or.jp/~arakin/>



Wit!はソフトウェアやニュース情報を提供するホームページだ。ソフトウェアのアップデート情報が充実しているので、常に最新版のソフトウェアを使いたい人はチェックするといふだろう。また、ウィンドウズやインターネット関連の最新情報が満載のメールニュースを毎週無料で配信している。

**Win** Onlinesoft97  
<http://www.mars.dti.ne.jp/~akatsuka/>



Onlinesoft97はウィンドウズ95用のソフトウェアのホームページを集めたリンク集だ。ソフトウェア作者のページへのリンク集なので実際のダウンロードは作者のホームページから行う。そのため、常に最新版のソフトウェアが手に入れられるのが強みだ。

**Win** Win95 J 祐基のホームページ  
<http://www.yuuki.com/>



このページではソフトウェアの紹介だけでなく、ウィンドウズを利用して陥りやすいトラブルへの対処法が掲載されている。また、ハードウェア各社が提供しているウィンドウズ用周辺機器のドライバソフトへのリンク集も充実している。

**Mac** 林檎の花  
<http://bmsun.asahikawa-nct.ac.jp/~morikawa/apple.htm>



林檎の花はマッキントッシュのソフトウェア情報を数多く収録したサイトだ。ジャンル分けされているので欲しいソフトが簡単に見つけられる。対応機種やOSが細かく記載されているので自分のマシンで動作するかどうか分かる点も親切だ。

**OS/2** Norloff's OS/2 Shareware BBS & Web  
<http://www.os2bbs.com/>



Norloff's OS/2 Shareware BBS & Webは、OS/2専門のフリーソフトウェアやシェアウェアを紹介したソフトウェアだ。膨大な数のソフトウェアが登録されている。ただし、ソフトウェアの説明がほとんどないので欲しいソフトを見つけるのは難しいのが残念だ。

**ソフトウェア情報募集!**

**投稿募集!**

編集部では、日々新しいソフトウェアを探しています。注目ツール、面白いツール、便利なツールなどを発見したら、編集部までご連絡ください。また、CD-

ROMに収録されているツールがバージョンアップしているぞ! といった情報も大歓迎です。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)